

# 教育委員会 8 月定例会会議録

1 会議の名称 中之条町教育委員会 8月定例会

2 会議の期日 令和2年8月19日(水)

3 会議の場所 中之条町ツインプラザ 研修室2・3

4 会議に出席した委員・教育長

教育長	宮崎 一
委員(教育長職務代理者)	登坂 初夫
委員	清水 博巳
委員	高橋 久夫
委員	山口 貴美子

5 会議に出席した職員

こども未来課長	倉林 敏明
生涯学習課長	富沢 洋
教育指導係長	矢嶋 将之
六合こども未来係長兼六合生涯学習係長	山本 伸一
文化財保護係長	須崎 幸夫
総務係長	田村 深雪

6 議 題

議案第1号 令和2年度教育費等予算の8月補正について  
議案第2号 令和2年度教育費等予算の9月補正について  
議案第3号 令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

7 協議事項

(1) 六合中学校のあり方について  
(2) その他

8 その他

(1) 令和元年度教育費等決算について  
(2) 問題行動及び適応指導教室「虹」、日本語サポート教室「未来」の状況について  
(3) インターネット環境整備確認等に関する緊急調査について

(4) 東谷風穴の概要について

(5) その他

- ・ 2 学期開始に際する管内各校における新型コロナウイルス感染症対策等について
- ・ 学校再開に関する児童生徒調査について

## 9 開会

午前 9 時 29 分、登坂教育長職務代理人、教育委員会会議の開催を宣す。

教育長より開会の挨拶。

## 10 会議録署名人の指名

こども未来課長が今回の会議の会議録署名人に、登坂 初夫教育長職務代理人を指名。

## 11 会期の決定

会期の決定 本日一日限り

## 12 6 月、7 月会議録の承認

山口委員より、6 月の会議録の奨学金貸付申請書の記載内容についての発言部分の修正希望あり。後日修正したものを再度確認いただくこととする。

7 月の会議録については、異議のないものと認め、承認。

## 13 報告事項

### (1) 教育長等執務報告

教育長より、令和 2 年 7 月 16 日から令和 2 年 9 月 24 日までの行事等について報告。

(原水禁平和大行進、県市町村教育委員会協議会第 2 回理事会 (太田市尾島町)、ALT 町長挨拶、文化財専門委員会、新型コロナウイルス感染症対策本部会議、六合中学校説明会 (延期)、第 1 回総合教育会議 (延期)、郡小学生水泳大会 (中止)、前橋气象台講演会、名久田地区テニス大会、中之条町祇園祭 (中止)、上毛・毎日新聞取材 (学校再開に関するアンケート調査について)、臨時議会、総合教育センター所長等来庁 (令和 3 年度の研修について)、少年の主張吾妻地区大会 (中止)、定例教育委員会、東谷風穴視察 (教育委員)、2 学期始業式 (小・中学校)、文化財専門委員会、管内校園所長会議、東谷風穴視察 (管内校園所長)、中中黒岩教諭来庁 (長期社会体験研修で群馬ヤクルトで研修中)、六合中学校説明会 (南部体育館)、議会 9 月定例会議本会議 (再開)、議会 9 月定例会議一般質問、伊勢町祇園祭 (中止)、入学者選抜制度検討委員会 (高校入試関係)、議会 9 月定例会議文教民生常任委員会、議会 9 月定例会議本会議 (最終日)、町村教育長会第 2 回理事会 (前橋合同庁舎)、次回定例教育委員会

#### 1 4 会議における議事の経過及び発言要旨

##### 議案第1号 令和2年度教育費等予算の8月補正について

こども未来課長、議案資料に沿って8月17日開催の中之条町議会臨時会議に提出した補正予算の内容について説明。

異議なく資料のとおり承認

##### 議案第2号 令和2年度教育費等予算の9月補正について

こども未来課長、生涯学習課長、議案資料に沿って中之条町議会9月定例会議に提出予定の補正予算の内容について説明。

(清水委員)

小原崎テニスコート照明の修繕料は補正後、当初予算の倍くらいの金額になる。修繕を計画した時にわからなかったのか。

(生涯学習課長)

事業執行のための精査の中でスポーツ専門業者に確認してもらったところ、予定した照明機器ではプレイに支障をきたすということが判明した。

(清水委員)

プレイヤーに支障があるなら良い方を設置しなければいけないが、最初が肝心なので気を付けてもらいたい。

(登坂教育長職務代理者)

修学旅行は行き先を変更しての旅行を検討しているということなのに、企画料を支払うというのはおかしいような気がするが。

(こども未来課長)

業者と調整中だが、大手旅行会社でも企画料の支払いは発生しているそうです。

異議なく資料のとおり承認

##### 議案第3号 令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

総務係長、議案資料について説明

異議なく資料のとおり承認

#### 1 5 協議事項

##### (1) 六合中学校のあり方について

(こども未来課長)

- ・7月19日から延期になった南部体育館での「六合中学校の在り方についての説明会」を8月30日の午前10時から行う。中之条地区から行かれる委員さんはワゴン車で事務局と一

緒に行っていただきたい。午前9時にツインプラザ集合出発としたい。

- ・2回の「六合中学校の在り方についての説明会」が終了するため、総合教育会議を開催したい。町長の都合の良い9月10日、11日、15日のいずれかの午後3時からとしたい。

(登坂教育長職務代理者)

6月の定例会の議事録の中で教育長と高橋委員さんが言っているが、六合中学校のこれからの一番の問題は「複式学級になる」ということだと思う。この部分について地域の人たちの理解が足りない気がする。まず、複式学級について理解していただいて次の問題を検討していかなければならないと思うので、説明会では複式学級になった場合の問題点についての説明をしっかりととして欲しい。

## (2) その他

特になし

## 16 その他

### (1) 令和元年度教育費等決算について

(こども未来課長、生涯学習課長)

令和元年度決算説明資料について説明する。

(登坂教育長職務代理者)

143ページの児童福祉費の広域入所委託料8人分は、中之条町の子どもが他町村の保育園や幼稚園に行っている場合にこのお金がかかるということでのよいのか。区域外就学のような形で子ども達を違う町村の学校にお願いする場合もこのくらいのお金がかかるのか。

(教育指導係長)

学校の区域外就学のシステムでは金銭の授受は一切発生しないことになっている。転居の都合等「やむを得ない事情がある場合」のみ期間を切って認めている。

(教育長)

幼稚園、保育所の広域委託と小中学校の区域外就学という制度はシステムが全く違う。区域外就学は限られた期間で費用は発生しない。六合中学校の検討委員会の中で検討した業務委託という形になると、お互いの調整で費用が発生すると思う。

(登坂教育長職務代理者)

生涯学習課関係の各講座に出た人の合計の人数は何人か。

(生涯学習課長)

91講座行い、3,196人だった。30年度は112講座行い、5,613人だった。

(登坂教育長職務代理者)

参加者が減ったのはコロナの影響か。

(生涯学習課長)

コロナの影響は大きい。

(登坂教育長職務代理者)

図書館の利用者が減っているという話だが、これもコロナの影響か。

(生涯学習課長)

コロナで閉館していた期間もあるが、ここ数年徐々に右肩下がりになってきている。特に高校生等の世代の図書離れが進んでいる。

(2) 問題行動及び適応指導教室「虹」、日本語サポート教室「未来」の状況について  
学校指導係長、資料により説明。

○問題行動

- ・不登校・別室登校：13件。6月から2件増
- ・いじめ：軽微なもの。学校で適切に対応している
- ・問題行動：1件。学校で適切に対応済み

○適応指導教室「虹」

- ・10名在籍。継続して保護者と指導員の面談が来ている

○日本語サポート教室「未来」

- ・9名在籍。子ども達それぞれが自分のペースで通室来ている

(3) インターネット環境整備確認等に関する緊急調査について

こども未来課長、資料により説明。

今後、新型コロナウイルス感染症対策で学校が休業になった場合、オンライン学習を行う可能性があるため、各家庭のインターネット環境の整備状況を緊急的に調査した。

- ・対象：小中学生がいる764家庭
- ・回答：706家庭（回収率92.4%）
- ・インターネットに接続できる家庭：659家庭（86.3%）
- ・まず、GIGAスクール構想の「学校で児童生徒が1人1台のパソコンを使用できるよう端末や通信環境の整備」を優先して行ったうえで、各家庭の状況の詳細な調査の実施などを検討していきたい。

(教育長)

家庭と学校とを結んでオンライン授業を行うには細かい部分の調査が必要になる。

○午前10時40分：10分間の休憩。休憩中に文化財保護係長入室。

○午前10時50分：再開。

教育指導係長、区域外就学について補足説明

- ・区域外就学：市町村（設置者）を超えて本来通うべき学校と違う学校に通うこと
- ・指定校の変更：同一町内で学区を超えて本来通うべき学校と違う学校に通うこと  
基準を設けて手続きを進めている

#### (4) 東谷風穴の概要について

文化財保護係長、資料により説明。

- ・風穴は山麓の岩の隙間から冷たい空気が噴き出す場所。自然現象を利用し、周囲に石垣を組んで貯蔵庫を作り蚕種を冷蔵保存した。蚕のふ化する時期を調節することで養蚕を年に2回から3回行うことが出来るようになり、繭の生産量の増大につながった。

東谷風穴は明治30年代から昭和初期にかけて利用されていた。戦後は営林署が樹木の種を保存する施設として昭和40年くらいまで使用していた。昭和44年に建屋と石積が取り壊され、石積の内部に放置されている。

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」の10資産のうちの一つとしてユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載され、平成22年2月、国の史跡に指定された。その後、対象が富岡製糸場と関連の強い4資産に絞り込まれ、東谷風穴は世界遺産候補から除外される。
- ・世界遺産候補からは除外されたが、国の史跡に指定された文化財のため整備、公開をする必要があり、平成25年度から整備に向けた取り組みを開始した。
- ・今後は石積の復元、崩落を防ぐための工事、建物の構造（骨組）の復元、建物を復元した体験施設の設置などが計画されている

(清水委員)

風穴から流れて来る空気の温度はシーズンに分けて調査されているのか

(文化財保護係長)

温度調査は内部や周辺で10箇所ほど温湿度計を置いて計測している。春先で2℃～3℃、今は7℃～8℃くらい。蚕種を貯蔵しておくには十分な温度であると思う。

(高橋委員)

石垣の奥行きは何メートルくらいあるのか

(文化財保護係長)

内側で奥行きが四間、幅が二間ある。地下1、2階の貯蔵庫と地上階に作業場がある建物で、1階の高さは2メートル弱くらいになる。

(登坂職務代理)

崩された石垣を再現するということだが、石があった場所の見当が付くのか。

(文化財保護係長)

石が落ちていた場所でどの辺の壁から崩れたものかわかる。また、石垣を崩す時は上から崩すので石垣の上にあった石ほど下層に落ちているためおおよその見当をつけながら調査することになる。

(登坂職務代理)

風穴は全国に200箇所くらいあったということだが、一番古いものはわかるのか。

(文化財保護係長)

長野のものが古いようです。もともとは漬物などを保管していた所を明治になって種紙の保管に使いだし、それが全国に広まっていったのではないかと思う。

(5) その他

○2学期開始に際する管内各校における新型コロナウイルス感染症対策等について  
教育指導係長、資料により報告

- ・管内4校の2学期開始に向けてのコロナ対策、熱中症対策、通知表の対応、修学旅行の対応を表にまとめたもの。
- ・コロナ対策：三密の回避、うがい手洗い、手指の消毒、マスク着用励行、教職員等による教室等の施設の消毒、など
- ・熱中症対策：密を避けられるときにはマスクを外す指導、登下校時に帽子、日傘、ネッククーラーの活用、普通教室では換気をしながらエアコンを活用する、など
- ・通知表：評価資料が揃った時点で発出する
- ・修学旅行：当初の計画の時期、方面を変更して実施するよう検討・調整中

(登坂職務代理)

中之条町の子どもにコロナ感染者が出た場合、どのように公表するのか。精神的に追い詰められてしまうので環境的に子ども達をどのように守るのが難しいと思うが。

(教育長)

県の保健福祉事務所が感染された方と連絡を取り合い、公表する内容を確認して群馬県のホームページで公表するという流れになると思う。それ以後の学校での対応は町として作った対応マニュアルに沿って対応してもらおう。一番難しいのは子ども達のメンタル面で、運悪く罹患してしまった子どもがいた時に子ども達同士でいじめが起きるようなことがないよう最大限に配慮しながら対応しなければいけないだろうと思っている。

(登坂職務代理)

子ども達が巻き込まれるのが一番困ると思うので、先生方にうまく指導していただきたい。

(教育長)

子どもが発症した場合には保健福祉事務所の指導を受け、施設の消毒を実施しなければならぬため臨時休業することになる。県が公表する時に学校名を伏せたとしても、休業するとその学校から発症したことが地域の方にはわかってしまう。そこが一番怖いところで、どういふうに地域の方にご理解いただくかは町当局とも相談し、保健福祉事務所からもご指導をいただきながら対応していかないといけないので、その時には委員さん方にも是非お力をお借りしたいと思っている。

学校での対応について委員さん方のご意見やご質問があったらお聞かせいただきたい。修学旅行を中止にした市町村もあるが、委員さん方はどのように思われているのか、ぜひお考えもお聞かせいただけるとありがたい。

(登坂職務代理)

- ・新型コロナウイルス対策、熱中症対策：子ども達を守るために非常によく工夫、検討されていると感じた
- ・通知表：先生が子ども達の今までの評価をした結果なのでこれでよいと思う
- ・修学旅行：対象の子ども達は今年しか行けないので何とか工夫して実施して欲しい

(清水委員)

- ・コロナウイルス対策：先生方は忙しい中仕事が増えてしまっているが、消毒作業等一生懸命対策されていると感心している
- ・熱中症対策：子ども達が外に出る時などは先生方に気を付けて見ていただきたい
- ・通知表：職務代理のおっしゃったとおり
- ・修学旅行：子ども達にとって大イベントなので、気を付けて実施出来る方向で進めて欲しい

(高橋委員)

- ・コロナ対策、熱中症対策：先生方も忙しい中、各学校でいろいろな工夫をして取り組みがされて大変すばらしいと思う
- ・通知表：評価できるところは評価している。評定不能も出て来るが仕方がない
- ・修学旅行：子ども達にとって大きな行事なので、状況を見ながら取り組んでいただきたい

(山口委員)

- ・コロナ対策：これからは感染の拡大のリスクを管理しながら、教育や医療の専門家の意見を聞きながら柔軟に判断していかなければならないと思う
- ・修学旅行：形や方向が変わっても感染拡大を管理しながらウィズコロナできちんとした管理の中で行かせてあげられたらよいと思う

(登坂職務代理)

委員さんから意見を言っていた。今後このような形で指導をよろしく願いたい。

(教育長)

特に修学旅行は一斉に中止にしてしまったところはいくつかあるが、事務局だけ、学校だけで決められるものではないので委員さんのご意見を伺い自信を持って学校を指導していけると思う。私も委員さんがおっしゃったように感染防止対策をしながら実施させてあげたいと思っている。学校の実態に応じて旅行業者と相談をしながら実施が出来る方向で検討してもらえよう伝えていきたいと思う。

#### ○学校再開に関する児童生徒調査について

教育指導係長、資料により報告

- ・学校再開に関する児童生徒調査について上毛新聞、毎日新聞の取材を受け、8月8日(土)に両紙に記事が掲載された。
- ・記者の方は子どもの声を直接アンケート調査した結果はなかなかなく、こういった形でまとめることは次につながるだろうと話していた
- ・特に「登校日があってよかったか」という項目には子ども達が前向きな回答をしてくれた。次に休校があった場合の参考になると思う。

(教育長)

アンケートの集計データを各学校に配布し、それを基に分析をしてもらっている。上毛新聞に『「咳」からかわれた例も』と出ていて、少しでも「からかわれた子どもがいる」ことが問題だと学校ではとらえている。道徳や学級活動等の授業の中で指導していかなければならないと



いうことを今後意識しながらやってもらえると期待している。

(登坂職務代理)

結果を読んで子ども達はこういうふうを考えているのかと非常に興味を持った。夏休みが短かったことに対して子ども達がどう思っているのかも機会があれば聞いてみたいと思った。

○その他

(生涯学習課長)

- ・歴史と民俗の博物館「ミュゼ」令和2年度第1回企画展  
語り継ぐ戦争～前橋空襲と戦時の暮らし～ 9月23日(水)まで開催中
- ・寄席ついで座 10月4日(日)開催予定

(教育指導係長)

- ・管内小中学校公開授業等について  
資料により、計画訪問の日程について説明。  
日程が未定の六合中学校武道推進モデル事業(弓道)、町研公開授業等については、日程が決定後お伝えする。
- ・9月2日(水)中之条小学校、同月23日(水)六合小学校、同月25日(金)中之条中学校、同月29日(火)六合こども園、10月7日(水)六合中学校のうち各委員が都合のつく日に訪問することとした

## 17 閉会の宣言

午前11時57分、教育長、教育委員会会議の閉会を宣す。

午後の東谷風穴視察は軽装で参加いただけるよう依頼。

## \*\*\* 次回の会議について \*\*\*

令和2年9月24日(木) 午前9時30分 於：研修室2・3

## 18 議決事項

- 議案第1号 令和2年度教育費等予算の8月補正について
- 議案第2号 令和2年度教育費等予算の9月補正について
- 議案第3号 令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(承認)